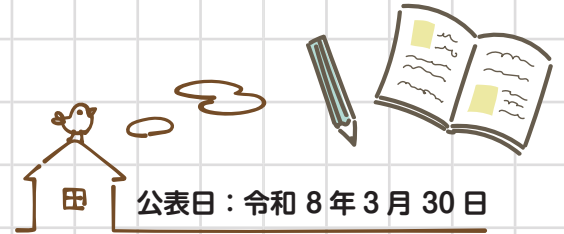


令和7年度

COMPASS 発達支援センター大野城 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年3月30日

○事業所名	COMPASS発達支援センター大野城			
○保護者評価実施期間	～			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年 9月 12日		～	2025年 9月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	～ 2025年 9月 27日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	0	(回答数)	0
○事業者向け自己評価作成日	令和7年 10月 1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができます。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内で定期的な勉強会を実施しています。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない、職員のさらなるスキルアップに努めてまいります。
2	児童の特性を丁寧に把握し、一人ひとりに合わせた支援を柔軟に提供できる点が強みです。 また、職員同士の連携が良く支援方法の統一が図られていることで、安定したサービス提供に繋がっています。	日々の記録や観察内容をこまめに共有し、支援に繋げるための短時間ミーティングを設けています。 また、保護者様への説明は専門用語を避け、理解しやすい言葉で伝えるよう心がけています。	支援計画の振り返りの頻度を増やし、より細やかな個別支援の改善をおこなってまいります。加えて、内部研修や外部研修、専門家の助言を積極的に取り入れ、支援の幅の拡充に努めてまいります。
3	職員間のコミュニケーションが良く、支援に関する相談がしやすい職場環境が整っています。 また、日常的に情報共有が行われ、支援の質が安定しています。	定期的なケース検討や支援内容の見直しをおこない、職員全体が同じ方向性で支援できるよう努めております。	内部研修や外部研修への参加を進め、専門性の向上に努めてまいります。また、マニュアル整備を強化し業務効率を高め、より児童に向き合える時間の確保に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校や関係機関との情報共有はできていますが、繁忙期には連絡調整に少し時間がかかることがあります。	連絡内容を簡潔にまとめ、必要な情報が伝わりやすいよう工夫しています。 また、連携時には目的や状況を明確に説明するよう意識しています。	今後は連絡方法の見直しやオンライン連携の活用を進め、より迅速で円滑な協力体制づくりを進めてまいります。
2	職員同士でフォローし合いながら業務を進めていますが、繁忙期には連絡が重なり、確認が遅れる場合があります。 大きな支障はありませんが、細かな調整に時間がかかることがあります。	ミーティングや連絡ツールを活用し、情報の抜けがないよう意識しております。また、必要な連絡は要点を簡潔にまとめるよう工夫しております。	連絡方法の統一や情報整理の見直しを進め、より円滑なコミュニケーション体制を築いてまいります。
3	日々の支援内容の共有はできておりますが、職員の勤務時間がずれる日には、情報が全員に行き渡るまでに少し時間がかかる場面があります。大きな支障はありませんが、ちょっとしたタイミングの差が生じることがあります。	短い時間でも声を掛け合い、必要な情報をすぐ共有できるよう工夫しています。 共有ノートやアプリも併用し、できるだけ確認しやすい仕組みを維持しています。	今後は共有のルールや手順をより整えていくことで、よりスピーディーでわかりやすい情報連携を実現し、支援の質の向上につなげてまいります。

